

友の会通信

2006
Vol.
15

～群馬県立自然史博物館友の会～



河原の観察会

平成18年7月9日(日)
富岡市和合橋近くの河原

曇り模様の天気でしたが、鏡川河原での観察会が実施されました。参加者は4家族と小学生6名を含む総勢22名でした。前半は講師に宮原義夫氏があたり、水生昆虫の採取の方法・昆虫の特徴や習性などについていねいに解説してくれました。後半は角田眞子・森平利政両氏があたり、和合橋下で見られる17種類の岩石について、見分け方・成因・特徴など解説して、安山岩・石灰岩・結晶片岩・礫岩などを見つけました。カゲロウやトビケラの液浸標本や岩石の標本などみやげに、興味関心の高まる観察会でした。

(友の会運営委員 堀越友子)

参加者の声

●子どもを連れての参加でしたが、小学生にもわかりやすい説明をしていただき、感謝しています。子どもが今回の観察会をきっかけに少しでも自然のこと、科学のことに興味を持てたらと思います。参加させていただきました。今後も積極的に参加したいと思います。

(18-109 高田賢一)

●石のいろいろな種類が調べられてよかったです。図鑑を見ながら「この石、これじゃない!」など考え、調べたのでとても勉強になりました。最後に宝探しなどをしたので、より楽しかったです。

(18-182 高田絵理香)

●いろいろな虫がいて楽しかった。たとえばヒラタドロムシ、ヘビトンボ、ヤマトフタツメカワゲラ、ムナグロナガレトビケラがいました。ほくが気に入ったのはヘビトンボです。

(18-183 高田一成)

●水生昆虫は、自分で見つけたかったカイが見つかってうれしかったです。岩石は、17種類の石があるなんて知りませんでした。中でも一番好きになった石は「石灰岩」です。

(18-106 中島恵美子)

●水生昆虫で草のところにあみを入れたらヤゴが出てきた。

(18-107 中島恭仁夫)

●私も、子どもの頃はよく近所の白川へ出かけ、岩の裏をひっくり返しては「うわぁ、気持ち悪いのがついてる!」なんて思い出があります。今、大人になって、河川の汚れ等は生物たちの大切なメッセージで、より明らかになっていることを知りました。河原の石たちは、角がとれてツルつと可愛いものがたくさんありました。また近々、河原に遊びに行ってみようと思います。

(18-569 千明英子)

●水生昆虫の観察では、どじょう、サカマキ貝が網に入って川の汚れを改めて実感しました。石の観察では、上流に石灰石が多いせいか、石灰岩がチャートがひどく白く目につきました。先生の最後のことは「足元の石ころにも誕生から現在までの歴史があるので気をつけて見るように」が、とても印象的でした。

(18-550 吉田計人)



平成18年度の総会が、5月14日午後2時から博物館学習室で行われました。昨年度の事業報告および決算報告、今年度の事業案や予算案が審議されました。その中で決定した主な事項を報告します。

★友の会規約改正について

- ①(事業)の項目に、「ミュージアムショップの運営」を追加。
 - ・今年度より、「ミュージアムショップ」の運営を友の会が行います。ただし、実質的な運営は、群馬サファリパークに委託して行います。
- ②(会費)の項目に、「10月1日以降の入会者は、会費を半額とする。」を追加
 - ・今年度の後期入会者は、会費が半額となりますので、ぜひともお知り合いの方々に紹介してください。なお、賛助会員は1口10,000円のままととなります。



★開館10周年記念事業への協力について

- ①開館10周年記念印刷物(ポスターまたはチラシ)の作成(予算:100,000円以内)
 - ・博物館が開館して10周年を迎えたことをPRするポスターまたはチラシなどの印刷物の費用について協力します。
- ②「自然史博物館のあゆみ」展の展示パネルの作成(予算:50,000円以内)
 - ・博物館では、開館10周年を記念して「自然史博物館のあゆみ」展(2007.1.4~2.18)を行います。その際展示するパネルの費用について協力します。
- ③友の会オリジナルフィールドノートの寄贈(100部)(支出の予定なし)
 - ・昨年度、友の会で作成したオリジナルフィールドノートを寄贈します。

★役員改正について

- ・今年度は、今まで運営委員をされていた横田衛様と市川悦老様が退任することとなりました。友の会の運営にご尽力いただきありがとうございました。そして、堀越武男様と北川眞理子様が新しく運営委員となりました。

平成18年度
役員・事務局

【会長】池下 孝雄	【運営委員】森平 利政	【顧問】横田 英一
【副会長】川原 英雄	角田 寛子	青木 道雄
【副会長】西田 隆良	柚木 郁	原 浩一郎
【監事】山田 利和	堀越 友子	【事務局】瀬下 保
徳江 紀	堀越 武男	上原 久志
	北川眞理子	野村 正弘

友の会講演会

平成18年5月14日(土) 参加者26名

友の会総会に合わせて、毎年恒例の長谷川善和館長による講演会が開催されました。

今年度は、「最近発見されたパレオパラドキシアをめぐって」というテーマで、富岡層群から発見された化石と他の地域から発見された化石を比較してわかってきた事を中心に説明をされました。

パレオパラドキシアは、カバに似た海生ほ乳類ですが、その姿が明らかになったのは最近のことです。富岡層群では吉井町と安中市から、その他の地域では北海道やアメリカなどから化石が発見されています。しかし、それぞれの地域で頭から足の先まですべての部分が完全に近い状態で発見された標本はありません。そこで、各地域の標本の各部分の一つ一つを比較しながら研究を進めていきます。

その結果、吉井町から発見されたパレオパラドキシアが世界で一番大きい種である可能性がわかってきたということです。

富岡層群から発見された化石の実物やレプリカも見せていただきました。大脚骨のレプリカでは、その大きさから体全体の大きさを想像することができました。1時間の講演があつという間に過ぎたように感じました。



友の会会員からのおたより



～化石探しにまつわる話～

4年前、友の会・化石観察会に参加したことがきっかけで、化石探しにハマりました。我が家近くの川原でも化石は見つかる聞き、さっそく出かけたのは11月。運良く河川工事の最中で水がせき止められ、ズックでも十分川底を歩ける状況でした。乾燥してひび割れた所を素手ではがすと、木の葉や貝化石の破片が出てきます。工事が終わるまでの期間限定ですから、頻繁に通いました。

そんなある日、川の中程で見たことのない貝化石を見つけ素手で拾い集めていると、一人の男性が川上から歩いて来ました。長靴を履き、リュックを背負い、ツルハシを持っています。私の手に乗っている崩れた化石を見て、「ツノガイだよ」と教えてくれました。大物化石をさがしている方なのか、その道具の大きさにビックリ。また別の日、流れの縁でじっとしている私を岩と間違えたのか、すぐ目の前でカワセミが魚捕りの芸を披露してくれました。自然の一部に溶け込んでいる自分が妙に心地よかったです。

化石さがしに限らずとも、意外な出会いが待っている自然の中へ、皆さまも出かけてみませんか。(18-501 北川 眞理子)



昨年の友の会「化石の観察会」より

～強風で見つけたマツグミ～

夏、甘楽町福島の笹森稻荷神社の森には、赤い筒状の花弁が落ちていることがあります。花の正体は全くわからなかったのですが、昨年3月の強風で花の主がわかりました。

強風では、神社のスギ・モミの大木が倒れるなど大きな被害を受けました。その折れたもみの枝に、緑の小さな葉と小さな丸い実をつけ、モミの樹皮に根を食い込ませている植物を見つけました。ヤドリギと思ったのですが、寄生主がケヤキやクリではなくモミなので、図鑑で調べてみるとヤドリギ科の常緑低木のマツグミでした。

平凡社日本野生植物本編によると、「関東・富山以西に分布」とあり、また群馬県植物誌では「山地：榛名山・前橋市・桐生市。常緑樹（アカマツ・モミ・ツガ）に寄生。まれ。」とありました。名前について牧野新日本植物図鑑では、「アカマツの上に生え、果実がグミに似る。」とあります。いずれにしても枝でも落ちなければ見つかりにくいものです。

笹森のモミでは見えにくいのですが、笹森の北東にある天王塚のモミのマツグミは見えやすくなっています。(18-517 堀越 武男)



マツグミ (撮影：石井信弘)

自然だより

生物名	分類	観測日	観測場所	観測者
ウグイス	初音	3月18日	前橋市女屋町	北爪二郎 18-535
ツバメ	初音	4月3日	前橋市新前橋町 (JR 新前橋駅ホーム)	北爪二郎 18-535
ツバメ	初音	4月5日	前橋市上大島町	北爪二郎 18-535
カッコウ	初音	5月10日	吉井町南陽台	北川眞理子 18-501
ホトギス	初音	5月12日	吉井町南陽台	北川眞理子 18-501
ニイニイゼミ	初音	7月7日	吉井町南陽台	北川眞理子 18-501
ヒグラシ	初音	7月11日	吉井町南陽台	北川眞理子 18-501

友の会視察研修旅行のお知らせ

今年度の友の会視察研修旅行は、東京都上野にある「国立科学博物館」と「上野動物園」を予定しています。期日は、11月19日(日)です。募集案内は後日発送しますので、ぜひご参加ください。定員は50人で、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

国立科学博物館

国立科学博物館は、新館が平成16年11月2日にグランドオープンしました。恐竜の骨格から植物の模型、宇宙科学、ナノテクまで、科学に関するありとあらゆるものを一同に集めています。地上3層・地下3層、展示面積は8900㎡。じっくり見ると1日では回りきれないほど広い博物館です。

上野動物園

上野動物園は、1882年に開園した日本初の動物園です。上野動物園といえばパンダといえるくらいジャイアントパンダで有名ですが、パンダは背を向けてなかなかコツチを見てくれないことが多いようです。園内には360種の動物が飼育されています。

新出版物の紹介

開館10周年記念企画展
(第26回企画展)

「コアラ大陸オーストラリア
～ふしぎな動物たちの世界～」

一般 500円 会員 450円



2月までの主なイベント

10月

・29日(日) 地層・化石の観察会
(高崎市雁行川)

11月

・19日(日) 友の会視察研修旅行
(国立科学博物館・上野動物園)

2月

・友の会天体観望会
(自然史博物館屋上の天体ドーム)



賛助会員

(7月末現在)

以下の法人・個人の方に趣意賛同いただきました。有り難うございました。

- | | | |
|--------------------|-------------------|------------------------|
| ■ 横田英一(1口) | ■ 原株式会社(1口) | ■ プリチストンタイヤ高崎販売(株)(1口) |
| ■ システム・アルファ(株)(1口) | ■ 小松総業(株)(1口) | ■ (株)藤井繊維(1口) |
| ■ (株)高長組(1口) | ■ (株)糸庄(1口) | ■ 群馬ゼロックス(株)(1口) |
| ■ 野口会計事務所(1口) | ■ 高崎ビューホテル(株)(1口) | ■ (有)山田会計(1口) |
| ■ (有)市川会計事務所(1口) | ■ ラジエ工業(株)(1口) | ■ 鈴木会計事務所(1口) |
| ■ 川原英雄(1口) | ■ 高崎冶金工業(株)(1口) | ■ 群馬トヨタ自動車(株)(1口) |
| ■ 佐藤春利(2口) | | |

編集後記

友の会主催の「河原の観察会」が実施されました。その内容は、別掲されていますので略しますが、河原の状況のショッキングな変化に気づきました。かつては、この季節に必ず見られたオイカワやウグイの稚魚の群れが全く見あたらないのです。このような厳しい現実を知るためにも、フィールド活動が重要だと痛感させられた観察会でした。

友の会通信編集委員 森平 利政